

平成24年3月期 第2四半期決算説明資料

平成23年9月30日

(決算発表日:平成23年11月11日)

 **和弘食品株式会社**

2011年11月11日

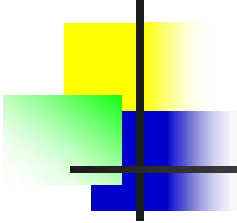


証券コード 2813



本資料についてのご注意

当社は、平成23年3月28日開催の第47期定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算期を12月31日から3月31日に変更いたしました。これに伴い、前会計年度は平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間となったため、前期同四半期報告書を作成しておりません。従って、前期同四半期会計期間及び前期同四半期累計期間の記載をしておりません。



平成24年3月期 第2四半期決算の概要



平成24年3月期 第2四半期決算の総括

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によって寸断されたサプライチェーンが予想以上に早く復旧し、新興国経済の好調などを背景に、企業活動もある程度持ち直しました。しかしながら、電力不足や震災被災地の復興作業の遅れなどに、歴史的な円高や欧州の金融・財政危機、米国の景気後退など外的なマイナス要素が加わり、景気は、盛り上がり欠けた状況で推移いたしました。

食品業界では、震災で被災した原材料・包装資材メーカーの生産拠点が復旧し、生産活動は、ほぼ回復いたしました。しかし、消費者の低価格志向が定着するなか、震災による自粛ムードは、一段落したものの、食中毒事件や昨年の猛暑による需要の反動減、さらに、牛肉・農作物などの放射能汚染で消費者の買い控えが起きるなどの悪影響もあり、消費は、力強さを欠き、原油や原材料価格が高止まりするなか、食品メーカーにとっては、厳しい環境が続きました。

こうした状況のもと、当社におきましては、全社的に生産性や業務品質を向上すべく、組織の活性化、業務の改善に取り組んでまいりました。生産部門においては、引き続き、品質向上とコスト低減の両立を図り、競争力を強化すべく、カイゼンプロジェクト活動や社員の教育・研修などに積極的な取り組みを行いました。また、営業部門におきましても、お客様満足度の向上を図るべく、営業社員のスキルアップを目的とする教育・研修などに取り組むと同時に、商品開発部門、生産部門との連携を強化し、お客様のオーダーメイド商品のスピーディーで的確な開発、少量・多品種・短納期対応に注力しつつ、厳しい競争環境のなか、食品メーカーや中食・外食企業向けの提案型営業活動などに積極的に取り組み、売上と利益の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高につきましては、中食・外食関連の主要得意先の堅調に加えて、東日本大震災による影響で減少を予想した東北地方の売上も前年を上回って推移し、2,897百万円となりました。一方、利益につきましては、高止まりしたボイラー用の重油や原材料費のコスト上昇などの影響を受け、営業利益は136百万円、経常利益は142百万円、四半期純利益は87百万円となりました。

第2四半期貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
(資産の部)		
流動資産		
1.現金及び預金	1,376,998	1,459,170
2.受取手形	94,169	82,356
3.売掛金	702,425	896,370
4.たな卸資産	424,890	328,316
5.その他	110,761	162,657
貸倒引当金	1,500	1,199
流動資産合計	2,707,745	2,927,672
固定資産		
1.有形固定資産		
(1)建物	856,712	838,721
(2)機械及び装置	294,007	280,414
(3)土地	581,179	636,142
(4)その他	219,205	229,476
有形固定資産合計	1,951,105	1,984,754
2.無形固定資産	8,586	17,619
3.投資その他の資産		
(1)投資有価証券	91,909	95,855
(2)その他	140,282	143,822
貸倒引当金	3,429	3,679
投資その他の資産合計	228,762	235,998
固定資産合計	2,188,453	2,238,372
資産合計	4,896,199	5,166,044

第2四半期貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
(負債の部)		
流動負債		
1.支払手形	4,105	4,470
2.買掛金	480,222	576,825
3.リース債務	21,666	25,974
4.未払金	225,815	210,337
5.未払費用	8,693	12,522
6.未払法人税等	4,263	65,132
7.未払消費税等	16,585	21,249
8.預り金	17,064	6,394
9.賞与引当金	64,000	91,000
10.その他	182	18,367
流動負債合計	842,600	1,032,274
固定負債		
1.リース債務	88,595	98,405
2.役員退職慰労引当金	113,544	93,192
3.その他	1,060	2,060
固定負債合計	203,199	193,657
負債合計	1,045,799	1,225,932

第2四半期貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
(純資産の部)		
株主資本		
1.資本金	1,413,796	1,413,796
2.資本剰余金		
(1)資本準備金	1,376,542	1,376,542
(2)その他資本剰余金	101	101
資本剰余金合計	1,376,644	1,376,644
3.利益剰余金		
(1)利益準備金	103,300	103,300
(2)その他利益剰余金		
別途積立金	259,000	259,000
繰越利益剰余金	922,254	1,010,145
利益剰余金合計	1,284,554	1,372,445
4.自己株式	232,092	232,261
株主資本合計	3,842,903	3,930,624
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,495	9,488
評価・換算差額等合計	7,495	9,488
純資産合計	3,850,399	3,940,112
負債純資産合計	4,896,199	5,166,044

第2四半期損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,897,615
売上原価	2,179,333
売上総利益	718,281
販売費及び一般管理費	581,458
営業利益	136,823
営業外収益	6,864
営業外費用	1,425
経常利益	142,262
特別利益	14,733
特別損失	1,634
税引前四半期純利益	155,360
法人税、住民税及び事業税	59,878
法人税等調整額	7,591
四半期純利益	87,890



第2四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	708,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,750
現金及び現金同等物の増減額	467,827
現金及び現金同等物の期首残高	1,376,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	909,170



財政状態の分析

資産、負債、純資産の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産合計は5,166百万円となり、前事業年度末に比べ269百万円増加いたしました。その主な要因は、季節変動による売上高の増加に伴い、売掛金が193百万円増加したことと、土地が54百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は1,225百万円となり、前事業年度末に比べ180百万円増加いたしました。その主な要因は、季節変動による生産高の増加により買掛金が96百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は3,940百万円となり、前事業年度末に比べ89百万円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益87百万円による利益剰余金の増加によるものであります。



財政状態の分析

キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「現金」という。)は、前事業年度末と比べ467百万円減少し、909百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、250百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益155百万と仕入債務の増加96百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は、708百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出550百万円、有形固定資産の取得による支出128百万円によるものであります。

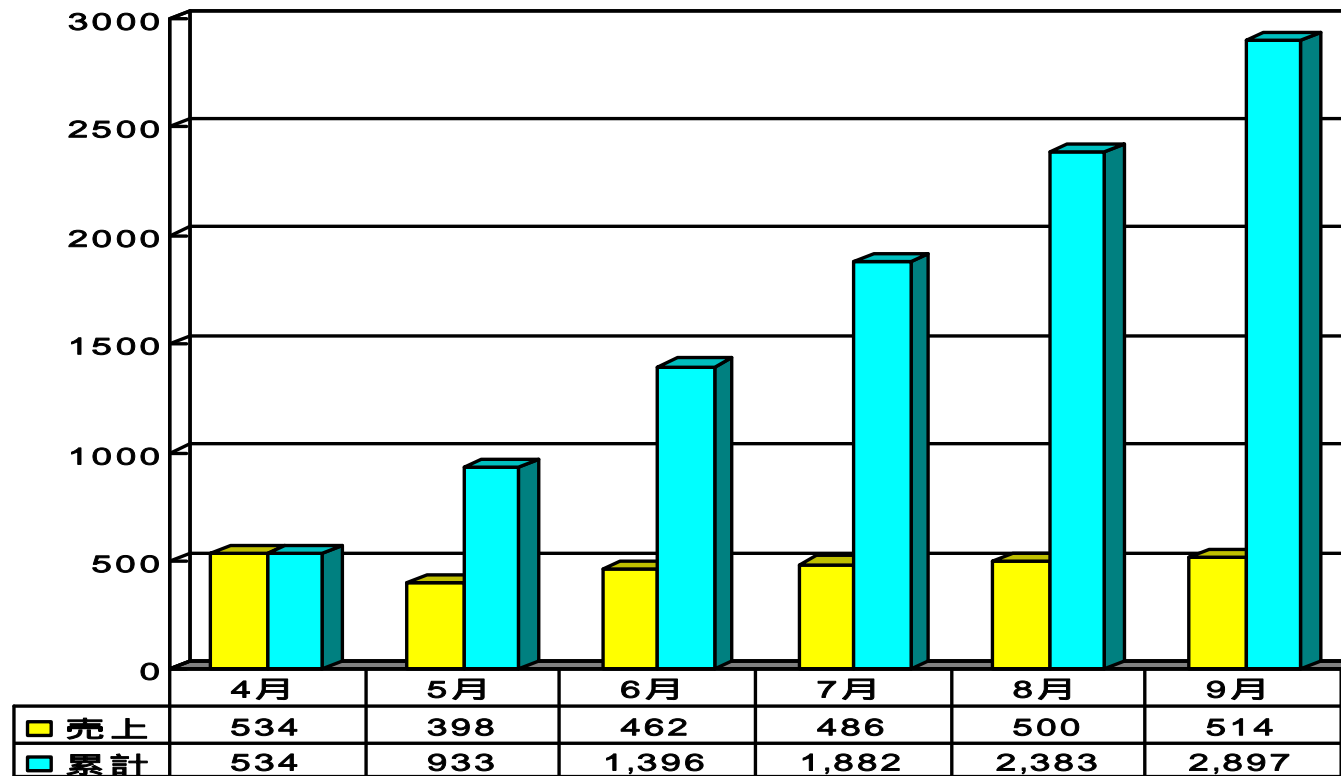
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は、9百万円となりました。これはリース債務の返済による支払9百万円によるものであります。

売上の推移

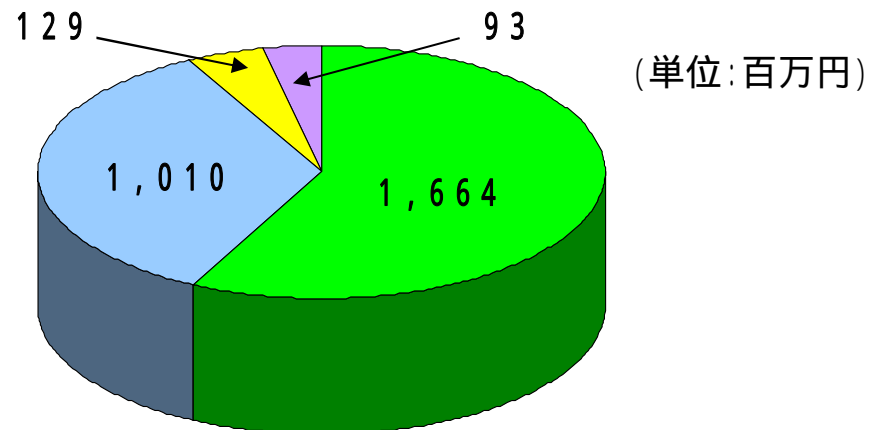
当第2四半期累計期間
平成23年4月～9月

(単位:百万円)



売上高構成比の比較

当第2四半期累計期間
平成23年4月～9月



【合計】 2,897

- 別添用57.4%
- 業務用34.9%
- 天然エキス4.5%
- メンマ・かきあげ等その他 3.2%



平成24年3月期 業績予想

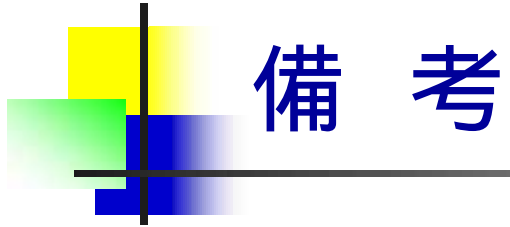


平成24年3月期の通期業績予想

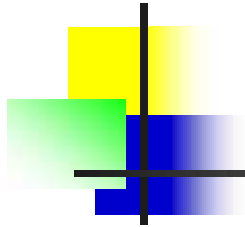
(単位:百万円)

区 分	今期(予想)	対前期 増減率(%)	備 考
売上高	5,561	-	
売上原価	4,305	-	
売上総利益	1,255	-	
販売費及び一般管理費	1,095	-	
営業利益	160	-	
経常利益	175	-	
税引前当期純利益	175	-	
法人税、住民税及び事業税	85	-	
当期純利益	90	-	

(注) 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



備考



本資料に関するお問合せ

WS 和弘食品株式会社

広報・IR室

TEL: 0134 - 62 - 0505

E-mail: IR@wakoushokuhin.co.jp